

www.samukawajinja.jp

相模

第510号
平成29年10月1日

奉祝 御社殿御造営竣工20年



13	12	11	10	9	8	6	2
寒川病院だより	青少年だより	寒川俳壇・相模詠草・人事	年年祭歳 煤拂祭	例祭献灯者芳名・NY見聞録	例祭神徳奉賛金奉賛者芳名	社頭動静 祭典・行事のご報告	巻頭特集 「祀」と「祈」を次の未来へ… 御社殿御造営竣工20年



茶屋 和楽亭
季節のお菓子とお抹茶でおもてなし
午前9時30分～午後3時30分まで
(午後3時受付終了)
拝服料500円より思召し



茶室 直心庵
毎月1日に限り特別に開庵します
どうぞご利用ください
◇午前10時30分/1席(約30分間)
◇午後1時30分/1席(約30分間)
各1席8名まで先着順
初めての方もお気軽に茶の湯に親しんでください

10月9日(月・祝) 午前11時・午後2時
15日(日) 午後2時のみ

以降の予定は決定次第ホームページにてお知らせします

神楽舞と雅楽 (雨天時中止)



紅葉の季節を迎えました
森厳な神嶽山神苑にて
紅葉を楽しみつつ
和やかなひと時を…

かん たけ やま しん えん
神嶽山神苑 御案内

● 本年は12月13日にて閉苑となります。

● 神嶽山神苑への入苑は御祈禱を受けた方に限ります。

第50回 菊花・写真展



▲平成28年宮司賞受賞作品

本年度50回を迎える菊花・写真展が11月10日～23日に開催されます。
近隣の菊花会より出品される豪華絢爛な菊花約350点、寒川神社の
四季折々の様子を写した写真約150点が境内に展示されます。
また本年は、第50回目の開催を記念して特別展示を開催致します。
詳細は5ページをご覧ください。

〔写真展作品募集〕

- 開催時期 平成29年11月10日～23日
- 題材 寒川神社に関係のある未発表の作品
- サイズ 四ツ切・六ツ切・A4・B4・A5・B5サイズ(ワイド可)
- 出品点数 1人5点以内
- 応募期間 平成29年10月1日～31日
- 入賞発表 平成29年11月上旬(入賞者へ直接連絡)

※作品の裏に住所・氏名・電話番号・題目・撮影年月日を明記のこと

問い合わせ 寒川神社 写真展係 ☎0467(75)0004

人形感謝祭 10月15日 11:00

人形奉斎殿では、お納め頂いた人形を日々お祓いするとともに毎月1日には清祓式を斎行しておりますが、10月15日の「人形の日」に合わせ、第6回人形感謝祭を午前11時より斎行致します。
人形は年間を通じお納め頂けますが、是非この機会にご参列くださいますようご案内申し上げます。



祭典と行事のご案内

11月23日 午前10時	新嘗祭	11月3日 午前8時30分	明治祭	10月1日 午前10時	御社殿御造営竣工20年記念事業(11月23日まで)
11月17日 午前11時	神嘗奉祝祭	11月15日 午前11時	人形感謝祭	10月14日 午前8時30分	煤拂祭
				10月23日 午前10時	天長祭
				10月31日 午後1時	師走大祓式
				12月1日・20日 午前8時30分	月次祭
					除夜祭終了後 神徳感謝祭
					並大祓祈願祭並除夜祭



奉祝 御社殿 御造営竣工20年

祀祈

奉祝 御社殿御造営竣工二十年
受け継ぐ。次の未来へ……。

寒川神社

今号発行のちょうど20年前の平成9年10月、今上陛下の御大典を壽ぎ、平成の「御大典奉祝記念事業」として進められた御社殿御造営の大事業がめでたく竣工を迎え、同2日に御神霊を仮殿から新たな御本殿にお遷しする本殿遷座祭が、千二百名を超える参列者が見守る中で厳粛に斎行されました。

翌3日より、御参拝の皆様には御神威新たな、輝きに満ちた新社殿にて、清々しくお参り頂く運びとなり、同25日には「御造営奉祝祭」が盛大に執り行われ、畏くも宮中より幣帛料が下賜され、神社本庁から献幣使の御参向をいただき、幣帛が恭しく献進されました。

新たに竣工した輝くばかりの新殿を壽ぎ、寒川大明神の八方除の限りない恩恵を求めて氏子・崇敬者が連日、全国から多数参拝に訪れました。また、11月2日までの奉祝期間には、境内で各種奉納行事が賑々しく開催され、境内は大いに賑わいました。

平成の御大典奉祝記念事業

今上陛下の御大典（踐祚から即位礼、大嘗祭に至るまでの一連の儀式）が全て執り行われたのは平成2年のことでした。当時、当社社の「八方除」の御神徳は広く全国より敬仰され、

御社殿御造営竣工を以て、足掛け8年に及ぶ御大典奉祝記念事業はすべて完遂しました。

御社殿御造営竣工20年

本年、当社社の御社殿は平成9年の御造営竣工より20年の節目を迎えました。

この間、境内各所では様々な周辺整備事業が進められ、神嶽山神苑の開苑、神池橋（旧太鼓橋）の架け替え、御社殿前の全面石張り、老朽化した玉垣の改修など、皆様に一層清々しくお参り頂けるよう、絶えず変化してまいりました。

しかし、変化し続ける当社社にあって、その中でも「不変」なるものが存在します。それは、寒川大明神に対する崇敬の念と、昔から変わらずに継承されてきている神社の祭祀を次の世代へとしっかりと受け継ぐという使

参拝者が日々増えていた一方で、建物は昭和初期の御造営のもので永年の風雨により傷み、また社殿は狭隘であったために、恒例の祭事や御祈禱にも支障をきたしている状況でした。

こうした中、平成の御大典の盛儀をお祝いするとともに、寒川大明神の神慮を和め、報い奉るために、御本殿をはじめ幣殿、拜殿以下の御造営を奉祝記念事業として進めることが決定されたのです。時に平成2年10月のことでした。

本殿の御造営については、まずは仮殿に御神霊をお遷しする「仮殿遷座祭」を平成5年12月に斎行。翌6年4月には、長野県木曾郡王滝村において「山口祭（山神を祭り作業の安全を祈る祭典）」と「御杣始祭（御社殿の御用材となるヒノキを伐り出すための祭典）」が斎行され、その後御社殿御造営に関する様々な祭典が斎行されていきました。

造営工事も順調に進み、平成8年5月には古式床しい「上棟祭」を斎行。そして、度重なる清めと祓いにより、仮殿より新たな御本殿へと遷御する準備を整え、平成9年10月1日、ヒノキの香りも芳しい、荘厳な御社殿が竣工しました。

翌日には古儀に則り「本殿遷座祭」が厳粛に斎行され、御神体が新たな御本殿へとお遷りになりました。この命です。

「祈り」は全ての始まりです。「祈り」は日々の生活に光を与え、進むべき方向を考える機会ももたらします。時代は流れ、価値観も大きく変化しました。しかし、神様を「祀り」、そして「祈り」を捧げるといふ本質的な部分はいつの時代も決して変わることはありません。

「不変」を守ることが神社の役目であり、それを維持・継承するためには様々なものを、絶えず新たに変わっていくことも必要です。寒川神社は、これからも御参拝の皆様にご寄り添った神社でいられますよう、日々生まれ変わってまいります。御社殿御造営竣工20年の節目に左記の通り標語を掲げ、また次の未来への一歩を踏み出しました。今後とも何卒変わらぬ御崇敬を賜りますようお願い申し上げます。

寒川神社御社殿御造営 竣工20年記念



記念展示 第1部

寒川神社 御造営のあゆみ

江戸期から現在までの図面を基に、各年代の御社殿をジオラマで再現。寒川神社の御社殿の変遷を、神社所蔵の資料とともに展示・解説します。

日時 9月16日(土)～10月22日(日) / 9時～17時
場所 客殿1階 特設会場

記念展示 第2部

菊花展・写真展50回記念 特別展示

日程 10月28日(土)～11月23日(木)

- 写真展 歴代宮司賞作品展
時間 9時～17時 **場所** 客殿1階 特設会場
※記念展示「寒川神社御造営のあゆみ」の規模を縮小し、併せて展示します
- 菊花展 特別展示
時間 6時～日没 **場所** 境内各所
※例年の展示に加えて開催

会員制 寒川神社 相模塾 開塾

神社や神道について学んで頂ける「相模塾」を開塾致します。
 相模塾の歴史は日本の歴史
第1期入塾申込終了しました

第1期入塾申込受付終了 申込〆切：9月15日(日)

[申込方法] 当神社の社頭にて配布中のチラシまたはHPでご確認ください。



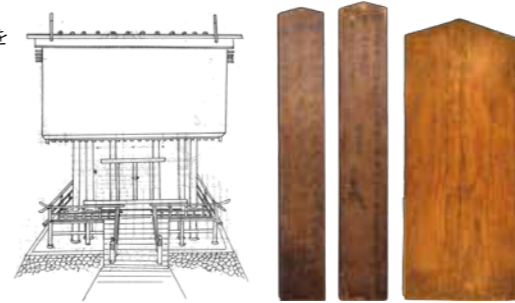
見学
無料



相模國一之宮
寒川神社
 ☎0467(75)0004(代)
<http://samukawajinja.jp>



江戸期から現在に至るまでの御社殿を再現したジオラマの展示もあります。



御造営のあゆみ

御社殿御造営竣工20年記念事業

御社殿御造営竣工20年

記念事業開催中

現在当神社では、御社殿御造営竣工20年を奉祝して各種記念事業を行っております。その第一弾として、記念展示第一部「寒川神社御造営のあゆみ」を10月22日(日)まで御祈禱受付所1階特設会場にて開催中です。

この展示では当神社の御造営の変遷について、初公開の資料も多数交えながら展示・解説しています。

今回の大きな目玉は、江戸期から現在に至るまでの御社殿を再現したジオラマの展示。当時の図面を基に、他の文献等の資料も参考にしながらジオラマを制作し、各年代の御社殿を一度にご覧頂き、比較をすることができます。

当神社は長い歴史の中で、幾度となく御造営を繰り返してきました。小田原の後北条氏も氏綱・氏康・氏政と三代に亘り、当社の御社殿修繕・造営事業を執り行っていたことが、当社所蔵の資料から読み取れます。

また、元禄・寛保年間の御造営は大規模で、

本殿のみならず神社全域におよぶ事業であったことが分かっています。

大正12年(1923)9月には、関東大震災により御社殿が傾斜し、神輿殿等が倒壊する未曾有の被害に見舞われました。翌年より社殿の復旧工事が始まり、神明造りの本殿様式から、本来の流造りの社殿へと戻されました。

昭和の御社殿が竣工して約70年の歳月を経て、平成9年10月1日、平成の「御大典奉祝記念事業」として進められた御社殿御造営事業がめでたく竣工を迎え、現在の御社殿へと生まれ変わりました。

このような、御社殿御造営の歴史を分かりやすく、また肌で感じて頂ける展示を引き続き開催しておりますので、ぜひ足をお運びください。

また、10月28日(土)からは第2部の記念展示も始まります。皆様のご来社をお待ちしております。

記念事業の詳細は次ページをご覧ください。

寒川さんの鈴の音

※鈴の音を「折り」の象徴ととらえ、当神社の折々の出来事をその音に乗せて皆様にお伝えするという意味を込めました。

浜降祭

海の日、湘南地方に本格的な夏の到来を告げる浜降祭が茅ヶ崎・南湖の浜で斎行されました。

夜明けとともに寒川神社をはじめとした寒川町・茅ヶ崎市に鎮座する神社の豪華絢爛な約40基の神輿が集結し、浜辺を乱舞する勇壮ぶりから「暁の祭典」ともいわれる湘南地方の夏の風物詩です。今年も約8万人の人の出で茅ヶ崎海岸は熱気に包まれ、海での禊を終えた各社の神輿は御神威も新たに帰路につきました。

また本年も、寒川4社の神輿が寒川駅前公園に集結し、さむかわ神輿まつりが開催され、町の活性化が図られるとともに、東日本大震災と九州・熊本地震で被災された方々への祈りを込めた復興祈願祭が斎行されました。

虫送り祭

どげけ 鈴の音
ガンバレ！東北
負けるな！九州・熊本

丹

精込めた田畑の作物を、虫害や天災から守り、その年の豊かな稔りを祈念する、虫送り祭が斎行されました。

「虫送り」は古くより農村部を中心に全国各地で行われてきた日本の伝統行事であり、地域によって様々な形で行われてきましたが、農業の普及等により、徐々に行われなくなり、その様子を継承することも神社の役目です。この伝統的な祭典を本年も斎行し、

町内の農業関係者等に多くご参列頂き御神前で秋の豊作を祈念しました。

相模薪能

終

戦記念日の8月15日、先の大戦において祖国を護るべく戦陣に散り、戦禍に倒れた英霊と戦争犠牲者の御霊をお慰めし、世界の恒久平和を祈る相模薪能が開催されました。

昭和45年より、日本の伝統芸能を後世へ伝えるべく始まった相模薪能は、第48回目を迎え、本年はあいにくの雨天で例年とは違った趣の中の開催となりましたが、多くの方にご来場頂き、皆様のご協力の下、無事に御神前で薪能を奉納することができました。

非常に人気の高い曲が揃った今回の演目は、能「羽衣く和合之舞」・「船辨慶」・狂言「二人大名」。御本殿前で篝火に照らされて当代の名人たちが演じる日本の伝統芸能は、見る者全てを幻想の世界へと誘いました。

例祭

年祭・新嘗祭とともに「三大祭」の一つで、当社の年間祭典の中で最重要とされる例祭

が9月19・20日の2日間に亘って、盛大且つ厳粛に斎行されました。

19日には、天下泰平・五穀豊穡を祈念して、流鏝馬神事が本殿西側馬場にて奉納されました。この神事の歴史は古く、鎌倉時代には行われていたという記録が残っています。当社では、流鏝馬の神事を司る「馬大夫」と呼ばれる家筋の者が代々継承してまいりました。その後、継承が困難となり、一時中断の危機もありましたが、武田流（公社）大日本弓馬会によって復興され、武田流による流鏝馬神事は昨年で50年となる節目を迎えました。（詳細は本誌第506号を参照）伝統を未来へと受け継ぐべく、また新たな歴史への一歩を踏み出しました。

例祭当日は、役員・総代をはじめ、全国より多くの崇敬者が参列し、厳粛に祭典が斎行されました。現在の御社殿御造営竣工より20年を迎える本年も、神社本庁よりの幣帛を奉り、巫女による神楽「浦安の舞」が流麗かつ厳かに奉奏され、いつの時代も変わらぬ祭祀を厳修致しました。

また、両日に亘り境内一円では献茶・献花・盆栽展・水石と美石展・奉納演芸・神輿渡御・少年館による作品展示等の各種神賑行事が行われ、境内は大いに賑わいました。

祭典・行事のご報告

7月

- 14日 社務所地下改修工事竣工清祓
- 15日 浜降古式祭
- 16日 浜降祭宵宮祭並遷霊祭
- 17日 浜降祭
- 18日 虫送り祭

8月

- 12～18日 國學院大学・皇學館大学 指定神社実習受入れ
- 15日 平和祈願祭
- 第48回相模薪能
- 18日 神社庁相模湘南支部総会
- 31日 社務所1階改修工事清祓

9月

- 1日 寒川神社全総代会
- 7日 馬場西側玉垣竣工清祓
- 12日 神社庁相模湘南支部 祭式研修会
- 14日 同 右
- 16日 御社殿御造営竣工20年 記念展示第1部 (10月22日まで)
- 19日 商工祈願祭並献灯奉告祭
- 商工奉賛会年次総会
- 例祭宵宮祭
- 流鏝馬神事
- 20日 例祭
- 23日 安藤由勝大人命 伊集院直彦大人命 他命等の慰霊祭
- 末社御祖神社
- 27日 高座氏子総代会総会
- 29日 末社宮山神社例祭

毎月1日・20日 月次祭(9月20日は除く)



【写真】①浜降祭 南湖の浜 ②さむかわ神輿まつり ③虫送り祭 祝詞奏上 ④相模薪能「羽衣」 ⑤例祭「浦安の舞」 ⑥例祭神賑行事「子供神輿巡行」 ⑦例祭神賑行事「万灯パレード」 ⑧例祭「玉串拝礼」 ⑨流鏝馬神事 ⑩例祭神賑行事「空手道演武」 ⑪例祭「修祓」

平成29年 例祭神徳奉賛金奉賛者芳名

上合	小林平八郎 殿	外43名	四四、〇〇〇円
中里(上)	竹中 保積 殿	外31名	八一、〇〇〇円
中里(下)	松村 信良 殿	外30名	四九、〇〇〇円
中里(河原)	宗 民生 殿	外23名	二九、〇〇〇円
中里(サザン)	高山 常平 殿	外9名	一一、〇〇〇円
馬場	金子 幸一 殿	外26名	二七、〇〇〇円
雷	北村 敏之 殿	外23名	二四、〇〇〇円
下	金子 芳幸 殿	外65名	六六、〇〇〇円
根岸(上)	野口 正行 殿	外49名	五七、〇〇〇円
根岸(中)	塩谷 浩 殿	外8名	一一、〇〇〇円
根岸(下)	栗原 隆司 殿	外38名	四一、〇〇〇円
オリーブの丘	小松 芳則 殿	外6名	一九、〇〇〇円
旭(東)	大島 健則 殿	外24名	二五、〇〇〇円
旭(西)	井上 祐也 殿	外15名	一六、〇〇〇円
南	小堤 二夫 殿	外13名	三三、〇〇〇円
火の見下	大嵩真由美 殿	外1名	二、〇〇〇円
鳥井戸2	森口 恭一 殿	外12名	一三、〇〇〇円
北台畑	鳥海 忠相 殿	外7名	一五、〇〇〇円
中台畑	秋本 勝広 殿	外4名	六、〇〇〇円
下河原1	村木 孝好 殿	外1名	一、〇〇〇円
西町1	木村 鐵馬 殿	外15名	一六、〇〇〇円
西町2 B	谷島 俊郎 殿	外3名	三、〇〇〇円
新道	櫻井 一雄 殿	外1名	一、〇〇〇円
笠谷	府川 宗吉 殿	外5名	五、〇〇〇円
宿1	木村 俊二 殿	外7名	七、〇〇〇円
宿2	若林 信夫 殿	外6名	五、〇〇〇円
東1	広田 一茂 殿	外12名	一三、〇〇〇円
東3・5 B	金指 弘 殿	外10名	一一、〇〇〇円
東4	清水黄美江 殿	外3名	四、〇〇〇円
小町屋1〜3	高橋 博 殿	外16名	一八、〇〇〇円
仲町2	高野トモ子 殿	外2名	二、〇〇〇円
目久尻	福田 圭治 殿	外5名	五、〇〇〇円
根下	小澤 千明 殿	外4名	七、〇〇〇円
中町原	井上 清 殿	外4名	三、〇〇〇円
久保地	小川 芳雄 殿	外6名	一八、〇〇〇円
仲町	三留 定雄 殿	外8名	一一、〇〇〇円
上町	鶴園 二郎 殿	外1名	六、〇〇〇円
仲町原	大久保政男 殿	外3名	四、〇〇〇円
上町・下町	三留 功 殿	外10名	一一、〇〇〇円
南駅前通	三堀 昇 殿	外1名	六、〇〇〇円
南2	金澤 純一 殿	外1名	四、〇〇〇円
北駅前通	新保 宏 殿	外2名	一、〇〇〇円
原1	藤井喜代治 殿	外3名	一一、〇〇〇円
東1	三澤 敬機 殿	外2名	三、〇〇〇円
入町	門倉 敏明 殿	外5名	六、〇〇〇円
大村(東1)	石井 周治 殿	外12名	一三、〇〇〇円
大村(西1)	松原不二男 殿	外9名	一八、〇〇〇円
才戸(東)	本間 豊 殿	外8名	二六、〇〇〇円
原(南)	今井みどり 殿	外12名	二五、〇〇〇円
原(北)	古谷 梨奈 殿	外12名	一三、〇〇〇円
十二天(南)	藤沢三佐男 殿	外6名	七、〇〇〇円
十二天(北)	北村いずみ 殿	外9名	一〇、〇〇〇円
新町	斉藤 清美 殿	外4名	五、〇〇〇円
南町	山口 行介 殿	外6名	一一、五〇〇円
西町	吉村 則昭 殿	外16名	二八、〇〇〇円
川端(西)	甲 和洋 殿	外12名	一三、〇〇〇円
桜町(上)	川崎 健司 殿	外4名	七、〇〇〇円
桜町(下)	米山 愛 殿	外1名	二、〇〇〇円
十二天(第二)	金子 文夫 殿	外14名	一七、〇〇〇円
大村(西2)	藤田 勝幸 殿	外10名	一七、〇〇〇円
高橋	高橋 伸隆 殿	外27名	二八、〇〇〇円
木村	木村 昭夫 殿	外18名	一九、〇〇〇円
石黒	石黒 良行 殿	外27名	二八、〇〇〇円
井上	井上 征治 殿	外28名	二九、〇〇〇円
梅田	梅田 六郎 殿	外22名	二三、〇〇〇円
木村	木村 昭夫 殿	外17名	一八、〇〇〇円
蛭田	蛭田 昌 殿	外26名	二七、〇〇〇円
伊藤	伊藤 國雄 殿	外4名	二五、〇〇〇円
澤津	澤津 善道 殿	外1名	一〇、〇〇〇円

平成29年 例祭献灯者芳名

入澤 一三	とんかつ水龍
中島 啓介	中沢運輸(株)
前田 隆一	日本精麦(株)
松本 學	(株)フルモト
高橋竹材店	(株)古山看板塗装
金子 昭	(株)ほりむら薬品
横溝 隆義	豊月堂
市川 元久	村松商事(株)
下里自動車(株)	ヨシカワ洋品店
藤又	レンゴ(株)湘南工場
(株)力ナリヤ	(株)アイアール
(株)寒川建材	(株)アイアール
東木材(株)	(株)秋江
(株)青葉	秋山商事(株)厚木支店
青山大寿司	(株)アクテイオ
(株)アサヒアーマシーナ営業局	安藤物産(株)
アズビル(株) 湘南工場	(株)イソダ
(株)ワスイ植物園	一政水産(株)
(株)梅屋幸	(株)植藤造園
(株)オーカワ	(株)大島寅次郎商店
河西工業(株)	(株)大角塗装工業
(株)金子建材土木	大村紙業(株)
千寿会きくの郷	(株)神奈川中宣
(株)喜久屋酒店	川本工業(株)県央支店
(株)金庫屋商店	(株)香川第一交通
(株)ランドライン・マルシゲ	(株)力ネヤ商会
(株)コーメー	(株)さんこうどう
小菅 千鳥	(株)サンユー
寿重機(株)	(株)ジェイコム湘南
(有)さがみや菓舗	(株)湘南ビューティブライダル
(株)サダコ美容室	(株)湘南山鉄
寒川病院	(株)シノハラ
寒川町商工会	鈴木徹章工芸(株)
(二社)寒川町観光協会	総合警備保障(株)湘南支社
湘南信用金庫寒川支店	(株)ダイワ・エム・ティ
湘南信用金庫寒川支店	(株)竹澤古典建築設計事務所
昭和興産(株)	(株)竹中工務店 横浜支店
神恵苑	長嶋興業
大黒屋	(株)永沢電業
瀧川園茶舗	(株)永沢電業
(株)中写真	(株)永沢電業
露木生花	(株)永沢電業
戸塚米店	(株)永沢電業

殆ど減んだ」との発言に「まず日本に行って地域の人々が担っているお祭りに参加してください」と思わずたしなめたり、逆に神道の穢れの概念を研究発表としてまとめた学生さんの慧眼に大変感心した事もあります。

学生達になぜこの授業を履修したのか聞いてみた所、東アジアの哲学や宗教に興味を持つ生徒が多く、授業を通じ「神道が日本人の民間信仰や政治的な考え方に影響を及ぼしていることが分かった」等の感想を頂きました。

今振り返ってみると、毎週末深夜にカフェや自宅に籠り、分厚い英語論文を読み込んで提出レポートを書くのは、仕事を持つ身として本当に大変でした。しかし実際に神社に奉職している者として議論に貢献できる部分も多く、毎学期講師もさせて頂き大変良い経験になりました。



▲コロンビア大学神道講座の受講生と

NEW YORK 見聞録

寒川神社 権備宜 中西 正史

第5回 アメリカにおける神道教育①

ニューヨーク赴任中の重要な任務の一つとして、大学における神道研究への支援事業がありました。そこで団体の助成により、NYを代表するコロンビア大学で宗教学部のマイケル・コモ教授の下で神道史(Shinto in History)という講座を開講しており、私も毎週出席しておりました。

日本の神道系大学では、まず神道概論や神道の基礎科目を受講し神道学の基礎を身につけた上で個々のテーマを掘り下げていきますが、この授業は神道学の基礎講座なしに研究の論文を毎週何百ページも読ませ、毎週それに基づいてゼミ形式で発表・討議していくというものです。それ故学生の神道理解にも大きな差があり、ある学生の「かつての地域のお祭りは現在の日本では



歳祭 煤拂祭

すすはらいさい

12月14日、一年間の汚れを払い清める年末恒例の煤拂祭が斎行されます。祭典終了後には、境内各所の大掃除が行われ、新たな年を迎える準備が本格化します。正に、師走の風物詩ともいえる重要な行事です。

煤払い

「煤払い」とは、一年に一度、屋内外の煤やホコリを払う年末の行事のことをいい「煤掃き」「煤納め」ともいいます。現在の大掃除の起源であり、年末には全国各地の神社仏閣で行わ

れ、テレビや新聞等でその様子が伝えられます。

多くの方が「煤払い」「年末の大掛かりな大掃除」と思われていますが、実は「煤払い」は、一年の厄を落とし歳神様をお迎えするための宗教的な意味が強い行事なのです。

正月事始め

煤払いの歴史は大変古く、平安時代には宮中において既に行われていたといわれています。江戸時代に入ると江戸城にて旧暦の12月13日に大規模な煤

払いが行われていました。

12月13日という日付の設定については、江戸中期まで使用されていた「宣命暦」が大きく関わっています。宣命暦における星宿の分割法の一つである「二十七宿（現在の暦で使用される「二十八宿」とは異なる）」では12月13日は必ず「鬼宿日」となり、万事に大吉の日であるとされてきました。

そのため江戸城では、正月を迎える準備を始める最良の日として12月13日に煤払いを行うようになり、現在も残る「正月事始め」の起源となったといわれています。

現在の暦を見て頂くと、12月13日は「正月事始め」と記載されていますが、新暦に変わり、正月事始めが必ず「鬼宿日」にあたるということはありません。さらに生活様式も大きく変わり、現在では煤とは無縁の生活を送るようになりましたが、わが国の伝統がこういったところにも残り続けているのです。

寒川神社の煤払い

前述のように江戸時代には広く12月13日に煤払いが行われていましたが、社寺においては特に決まった日に行わなくてはならないという決まりはなく、当社では古くから12月14日に行われています。

当社では、職員一同が社殿に集まり、まずは煤拂祭が斎行されます。祭典終了後、4m程の笹竹を持った神職2名が普段手の届かない部分の煤を払います。その後、職員総出の大掃除が境内各所で行われ、新たな歳神様をお迎えする準備を整えていきます。

近年では、ご家庭での大掃除は年末ギリギリに行うことが多いと思いますが、12月13日に神棚の掃除だけでもしてみたいかがでしょうか。

お正月に歳神様をお迎えする気持ちが一層強くなり、一段と清々しい新年を迎えられることでしょう。

寒川俳壇

一竿は赤子のものほす晩夏光
あの頃は隣り組あり終戦日
焼蕎麦のソースが匂ふ村芝居
秋茜止まりし杭の渡し跡
湖も大河も知らぬ金魚かな
働ける事の喜び疍豆摘む
秋あかね女ばかりの一日旅
くずし字のような浮雲今朝の秋
蟋蟀こむぎや使はぬままの台秤
異国へと誘う扉夏館
行きずりに撫でてたいて行く南瓜
水打って葉舗のにおい陽のにおい
泣いてやる蟬と一緒に蟬よりも
今はもう月見草だけの海の基地
宅配便額をなぐる玉の汗
この町は子には古里夏つばめ
指間よりこぼれし日々や星流る
秋茜実る田圃へ先回り
掬はれてギヤマン住いの金魚かな

露木てる子
宮入 つる
芹澤 徳光
飛石 権花
菅沼 保幸
根岸 君子
岩田美代子
金子 つち
菅沼うめの
猿渡 弥生
松本美智子
石原美枝子
吉田 和美
伊藤 公一
松村 信篤
倉谷 節子
竹村真砂美
原野 楽天
天沼 子平

相模詠草

くだされし友にも似たるさわやかさ色鮮やかな青の紫陽花
挿木せしアジサイ一枝此の五月八輪咲きて喜び八倍
大掴み根元にふりまくお礼肥今年の牡丹一輪が散る
ダイサービスに通ふ義妹のなにもかも忘れておれど「ありがとう言ふ」
泰山木白く大きな花開く優雅な香りは吾を魅了する
掘りたての馬鈴薯で作るフライドポテト大皿山盛りたちまち空に
茄子いつつ庭に採れしを味噌炒め辛めの味つけ抜群によし
取りたての枝豆ゆがき食卓へ甘いにおいとこぼれる笑顔
垣根ごしひっそり咲きたる半化粧教えくれたる亡き人思う
純白の花びら広げ月下美人月の夜に舞う白鳥となる
庭に咲く花にそれぞれ思いあり友の顔あり故郷もあり
黒あげは青筋あげは黄あげはと舞ふにあひたる梅雨明けの朝

山根喜美代
安藤 慧
亀山 文子
平澤まさえ
吉田 幸子
宮治友美枝
徳江 道子
土屋トミ子
稲垣 武子
山口 幸子
岡元 芳子
杉本 照世

人事

昇進

〈神社〉
彌宜 鈴木 康宏
権彌宜 水谷 智賢
神職身分二級上とする
平成二十九年九月十日
神社本庁

退職

〈寒川病院〉
看護師 菅原 征子
診療放射線技師 本田 明光
願いに依り職を免ずる
平成二十九年九月三十日

採用

〈寒川病院〉
看護師 早坂 美樹
看護師 遠藤 直子
看護師 植村 幸子
看護師 片山 祥恵
寒川病院勤務を命ずる
平成二十九年九月一日

薬剤師 疋田礼喜子
看護師 金崎はるか
寒川病院勤務を命ずる
平成二十九年十月一日

〈神恵苑〉
介護福祉士 山田 和宏
神恵苑勤務を命ずる
平成二十九年八月一日

〈さむかわ訪問看護ステーション〉
看護師 野地 ユカ
さむかわ訪問看護ステーション勤務を命ずる
平成二十九年十月一日





齋藤 裕 医師よりご挨拶

宗教法人 寒川神社 寒川病院 整形外科医長 齋藤 裕

病院
だより



寒川病院の整形外科で勤務しております齋藤 裕と申します。

出身は神奈川県大和市で、昭和56年に横浜市立大学を卒業し、以後神奈川県下の病院に勤務し、平成29年3月までは、約18年間相模原市橋本の相模原協同病院に在職しておりました。専門は、関節外科（とくに下肢）で、人工関節や関節形成術を主体に行ってまいりましたが、脊椎外科にも興味があり、脊椎疾患の治療に関与することも多くありました。整形外科の専門医はもとより、脊椎脊髄病、リウマチ、スポーツ整形外科等の専門医資格を有しております。

今回、ご縁があつて、平成29年4月より、寒川病院に入職させていただくことになりました。

整形外科は運動器を治療する診療科です。運動器とはあまり聞き慣れない言葉かもしれませんが、簡単にいうと、首から下の、内臓を除くほぼすべてで、骨、筋肉、じん帯、神経（皮膚）、脊髄・脊髄といふこととなります。運動器は、その障害が直接生命を脅かすわけではありませんが、日常生活を不自由なく送るには、極めて重要な器官です。

このように整形外科は取り扱う体の部位が広いので、最近では、脊椎外科、関節外科と二分され、さらに関節外科は上肢と下肢、さらにリウマチや変形性関節症に対応する分野やスポーツ整形外科、救急外傷外科等、その専門分野は多岐にわたっています。患者さんに全ての領域の整形外科治療を提供できるのが理想的ですが、当院では人員の問題もあり、難しい状態です。ただ、すべての疾患にできる限りの確かな診断を下せるように努力し、責任をもって専門医療施設での治療を斡旋するお手伝いはさせていただきます。

本邦は、世界でも類を見ないスピードで高齢化が進み、超高齢社会（65歳以上の高齢者人口が占める割合が21%を超えた社会）とい

う。現在の日本は平成27年9月の段階で、26・7%を迎えています。こうした中で、健康寿命を延ばすことは重要な課題であり、そのためには運動器の健康が何よりも大切となります。

また、現在、国の政策は地域包括ケアシステムを推進しています。地域包括システムとは、地域における「医療」「介護」「生活」それぞれのサービスを一体的に提供できるケア体制を地域ごとに構築しようというもので、高齢化が進む社会に対応する目的で設定されました。当院も、急性期病院という役割を担うかわり、病状がある程度落ち着いた場合の亜急性期の治療も行い、介護への移行、生活の充実をめざし、地域包括ケアシステムに貢献できるように積極的に取り組んでいます。

私は今まで、急性期治療一本やりの病院での勤務がほとんどでした。

そうした中で、平成20年から2年半にわたる、一人がらしの認知症の母親を在宅介護する経験をいたしました。介護中に母は自宅で転倒し、大腿骨近位部骨折を受傷しましたが、認知症もあつたため機能回復は得られず、介護施設にお世話になることになり、もう自宅に戻ることはできませんでした。この時は、高齢者の身内、ある意味で高齢者の主治医として、医療、介護、生活サービスの連携を痛感いたしました。

今後も整形外科疾患の急性期治療に従事していく所存ではありますが、こうした経験を生かし、少しでも医療介護ニーズ増大への対応に寄与し、整形外科として当院の地域包括ケアシステムへの貢献に尽力できればと考えています。

地域の皆様、よろしくお願ひ申し上げます。

齋藤医師診療日

	月	火	水	木	金	土
午前	○			○		
午後	○			○	○	



青少年だより



夏の思い出

BS寒川第2団 台湾交流会

人と人との出会いは、不思議な縁によって導かれ、時として思わぬ結果を生むこともあるものです。

平成26年8月、発団40周年記念キャンプで沖縄を訪ねた際、ある男性に突然片言の日本語で声を掛けられました。男性は台湾のボーイスカウト指導者で、沖縄へは個人的な観光に来られていたようです。このときは簡単な挨拶程度で別れましたが、その後連絡を取り合ううちに、寒川第2団と台湾のスカウトで交流会を開こうということになりました。

準備に1年以上。今年の夏に、台湾のスカウト・指導者総勢33名を受け入れました。

羽田空港に到着した台北市第360団一行は、寒川第2団が待つスカウトハウスへ移動。熱烈な歓迎を受けました。

2日目は寒川2団のスカウトと混成班を組み、事前に準備したツリーハウスの完成作業などを行い、午後からは、平和運動のカーリングラインアートを日台合同で実施。平和・友愛・相互理解等をアートで表現しました。

3日目、箱根を訪問。この日から台湾のスカウト達は日



本の家庭にホームステイし、日本と台湾の文化の違いを学びました。

4日目は湘南海岸でバーベキューやスイカ割り等を行い、午後はホスト家庭に戻って茅ヶ崎花火大会を楽しんだスカウトもいたようです。

最終日、寒川神社を正式参拝。緊張の面持ちで神前に進み、初めて見る神楽に心を奪われていました。

こうして4泊5日に亘る交流会は無事終わりを迎え、再来年発団45周年を記念して訪問する台湾では互いに成長した姿での再会を誓い合いました。

少年館 夏季錬成会

7月25～26日の2日間、山梨県八ヶ岳にて「夏季錬成会」を実施しました。まずは武田神社に到着。正式参拝後、信玄公ゆかりの宝物を見学しました。小須田牧場では、馬房掃除・ブラッシング・乗馬等の体験を行い、「生き物を育てる大変さ」について学びました。

宿泊は八ヶ岳少年自然の家。夕食後体育館でミニ運動会を行い、翌日は清々しい空気の中、広大な自然を利用した冒険ハイクに挑戦。班員同士一段と強くなった絆で、1つ1つの関門を協力して克服していきました。

南アルプス市では桃狩りを行い、家族へのお土産もゲット。錬成会を通じて様々なことを学んだ館生たちは、また一層逞しくなったようでした。



少年館 お泊り会

8月17～18日、恒例の「お泊り会」を開催しました。

普段から寒川神社の杜の中で活動している館生ですが、神社の事を知らない子も多かったため、今回は寒川神社内の見学を行いました。正式参拝後、神楽舞の見学、神嶽山神苑の散策を行い、巫女の装束・稚児装束に着替えての記念写真。少年館生でなければ体験できないことばかりで、皆興味津々でした。

翌朝はお隣の興全寺で座禅を体験。身も心も引き締まりました。

1年生にとって初めての宿泊体験は、大きな糧となり、これからの活動に役立つことと思います。

動 静

<p>7月</p> <p>2日 育成総会 (BVS-CS-BS-VS-RS) 育成総会 (少年館)</p> <p>17日 神輿パレード国旗持ち奉仕 (BS-VS)</p> <p>19日 終業式 (少年館)</p> <p>22～23日 1泊舎営・水泳訓練 (BVS-CS)</p> <p>25～26日 夏季錬成会 (少年館)</p>	<p>8月</p> <p>2～6日 寒川第2団・台北市第360団交流会 (BVS-CS-BS-VS-RS)</p> <p>17～18日 お泊り会 (少年館)</p>	<p>9月</p> <p>1日 始業式 (少年館)</p> <p>24日 秋のハイキング (少年館)</p> <p>// 江の島探検 (BVS-CS)</p>
--	---	--

小学1年生以上の男女
問合せ…寒川神社少年館
☎0467-74-0551

スカウト
募集中!



結い

寒川比古命と寒川比女命をお祀りする寒川神社。御本殿で結婚の奉告をした新郎・新婦は、人力車に揺られて挙式を行う参集殿に向かいます。結ばれて、新しい人生の門出を寒川神社参集殿で。

神前挙式・衣裳付きプラン ￥390,000(税別)～

ご予約・お問合せは

寒川神社 参集殿

〒253-0106 高座郡寒川町宮山3835-1
☎0467-75-5555 FAX0467-75-5556

結婚式・披露宴・初宮詣・七五三詣
成人式・還暦祝など各種お祝いのご会食
参拝会食・忘年会・新年会・歓送迎会
同窓会・創業記念など各種のご宴会

<http://www.sansyuden.jp>

料理長
おすすめ

期間限定
春夏秋冬
茶屋御膳

※写真と盛付と料理内容等が多少異なる場合がございます。

秋の
松茸ごはん

- ◎ 小鉢
- ◎ 海老と野菜の天ぷら
- ◎ 二八そば／うどん
- ◎ ※冷たい・温かい
- ◎ 松茸ごはん
- ◎ 季節の香の物
- ◎ 自家製杏仁豆腐

～お献立～

◎お一人様 **1,566円+税**

そば処 **八福茶屋**

お問い合わせ
電話 0467-73-0808



祝祭日には国旗を掲げましょう

【表紙写真説明】

御造営竣工20年を迎えた御社殿と展示中のジオラマ

【題字】神社本庁 総長 田中恆清

『木札』

月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です



師走
「12月」

霜月
「11月」

神無月
「10月」

神社の素朴なぎもん!?

Q お参りの正しい作法ってあるの？

神社にお参りするときの正しい拝礼方法は「二礼、二拍手、一礼」です。つまり、2回礼をして、2回拍手をし、もう一度礼をするという作法です。中にはこれとは違う作法でお参りする神社もありますが、最も一般的な参拝の作法です。

最近では、テレビなどでもお参りの仕方が紹介されているので、聞いたことがあるという方も多いと思います。ただ、本当に正確な作法まではなかなか紹介されません。

そのため、最初の二礼と最後の二礼を「軽く頭を下げる程度」と思われている方も多いと思います。実は、神社での作法にはその一つ一つに決まりがあり、礼の角度まで細かく決められています。「二礼、二拍手、一礼」は正式には「再拜、二拍手、一拜」といいます。

神社についてのなかなか聞けない素朴な疑問に、毎号少しずつお答えしていきます。できるだけ簡単な言葉でお答えしますので、ぜひお子さんと一緒にお読みください。



この「拜」というのが、90度の礼のことを指し、神様に対してだけ行う、最も深い敬礼作法です。このとき、単に頭を下げるのではなく、背筋を伸ばしたまま腰を折り、背中と地面が水平になるところが90度の目安になります。両手は膝の前に置きます。横から見ると、数字の「7」のような形になります。

神社の拝礼方法は、礼という縦の動きと、拍手という横の動きが混ざった、世界的にも非常に珍しい作法を取り入れています。

「再拜、二拍手、一拜」には角度以外にも、いろいろな決まりがありますが、ぜひ礼の角度だけでも意識してお参りしてみてください。そのお気持ちはきっと神様に伝わることでしょう。

次号『相模511号』は平成30年1月1日(月)に発行します

第510号 平成29年10月1日
発行所：寒川神社社務所
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916
電話：0467(75)0004(代)
編集責任者：井上 浩之
印刷所：株式会社さんこうどう
<http://www.samukawajinjya.jp>

本誌のバックナンバーは当神社HPよりダウンロードできます。

後編集

先日、新型の「アイフォーン」が発売されました。

アイフォーンの開発・販売を行うのはアメリカの「アップル社」。その設立者の一人であるスティーブ・ジョブズは生前こんなことを言っていました。「日本には『初心』という言葉がある。『初心』をもつことは素晴らしいことだ」と。

初心という言葉は室町時代に世阿弥が最初に使ったといわれていますが、英語では本質をついた翻訳は難しいそうです。

御社殿御造営竣工20年という節目にあり、本誌も初心を忘れず編集しなければと痛感します。